



見附小学校

生活指導だより

生活指導部
令和6年7月12日

いじめを見逃さないために・・・



新潟県では、「いじめ見逃しゼロ県民運動」を推進しています。この県民運動は、**学校・家庭・地域社会が連携しながら児童生徒の社会性を育成**するとともに、「いじめ見逃しゼロ」に向けて、**連携して児童生徒にかかわり**、いじめをはじめとする**生徒指導上の諸問題の解決や未然防止を目指す**ものです。県内の全ての学校で6月と10月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」として様々な取組を実施しています。嫌な思いをすることは、誰にでも起こり得ることです。大切なことは、いじめを見逃さないこと、早期に発見すること、組織的に対応すること、学校・家庭・地域が連携して対応することです。子ども同士の中にも、いじめを見逃さない風土を醸成するために、「いじめ見逃しゼロ絆集会」、「いじめを見逃さない学級の合言葉づくり」を行いました。

いじめ見逃しゼロ絆集会

見附小学校での「いじめ見逃しゼロ強調月間」の先駆けとして、生活委員会が「いじめ見逃しゼロ絆集会」を実施しました。子ども同士の中で起きがちな**様々な日常場面を再現し、「相手はどんな気持ちかな?」「本当にみんながいい気持ちなのかな?」と、全校に投げかけ、問題提起**しました。

第三者としてその場面を見れば、「おかしい」という点に気が付きやすいですが、**その場の当事者であると、相手をどんな気持ちにさせるかといった「想像力」が弱くなる傾向が見附小学校の子どもたちにはあります**。人との関わりに関する知識と行動が合致して、望ましい関わりができるように、担任だけでなく、すべて職員で子どもたちの指導、支援にあたっていきます。しかし、いじめ見逃しゼロ県民運動のねらいの通り、そのためには**家庭や地域社会との連携は欠かせません**。是非、「それはおかしいよ」「今のはいい言葉かな?」と、**子どもたちと共に考え、正しい在り方を教える機会を、家庭、地域でも大切にさせていただきますようお願いいたします**。

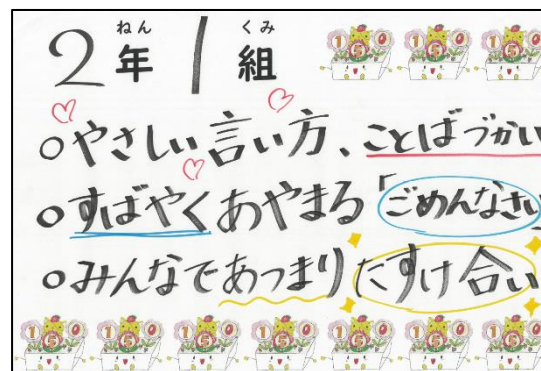
「見附小いじめ見逃し宣言」を全員で斉唱！

「ひとつ！ わたしたちは絶対にいじめをなくします！」
「ひとつ！ わたしたちは相手の気持ちを考えて行動します！」
「ひとつ！ わたしたちは悪いことは「悪い」と言える勇気をもちます！」



いじめを見逃さない学級の合言葉

いじめ見逃しゼロ絆集会を受けて、それぞれの学級でいじめを見逃さない合言葉を話し合いました。自分たちの学級に必要なこと、**みんなで頑張りたいことを合言葉に**しました。大切なことは、一人一人が思いを表出すること、みんなで守っていくとする意識を醸成し、継続することです。この合言葉については、秋のいじめ見逃しゼロ強調月間で達成状況を振り返ります。それまでに合言葉が形骸化しないように、生活委員会は、合言葉に関する各学級の様子を昼の放送で紹介していくと計画しています。



お知らせとお願い

〇見附まつりでの過ごし方をご家庭でご確認ください！

今年も見附まつりにたくさんの露店が並ぶと思います。子どもたちも露店や花火を楽しみにしていることでしょう。見附まつりを安全に楽しく過ごすために、お子さんと約束などをしっかり話し合ってくださいようお願いいたします。学校としてのお願いは以下の通りです。
最終判断は各ご家庭にお任せいたします。

- 〇様々な地域から多くの人を訪れる場であるため、昼夜問わず、一人で出歩くことはしない。
- 〇お家の人と行くことを基本とする。
- 〇お金の使い方（おごり合いはしない、無駄遣いしない）などについて確認をお願いします。

※お金を使う場であること、いろいろな人が集まる場であることから、夜間はなるべくお家の方についていただきたいと思います。
※お祭りの雰囲気で気持ちが高まる中でも、危機を予測すること、規律やマナーを重んじた判断や行動をとることを学校で指導します。ご家庭でもご指導をよろしくお願いします。

〇携帯電話、スマートフォン、携帯ゲーム機、アプリなどの使い方を親子でご確認ください！

日頃から、LINE等を用いたメッセージのやりとり、インターネットを介したゲームなど、多くの子どもたちがインターネットを使っている実態があります。**相手の顔が見えない中でのやりとりは、大人を含め、その場の雰囲気(ノリ)で間違った使い方をしたり、相手を傷つけたりする可能性があります**。

長い夏休みに入り、携帯電話、スマートフォン、携帯ゲーム機などを使う機会が多くなるかと思います。正しい使い方、相手を傷つけない使い方、個人情報の扱い方、事件に巻き込まれる危険性とその対処法など、ご家庭でもご指導をよろしくお願いします。

また、**子どもたちは動画などを中心に、インターネットから様々な知識を得ているようです**。閲覧したことをそのまま事実と思い込む場合もあります。**お子さんがどんなことを閲覧し、どんな情報を得ているのか把握していただき、自分自身で判断することの大切さをご指導いただきますようお願いいたします**。



〇公共施設でのマナーを守った過ごし方について

プレイラボをはじめとして、地域の施設での過ごし方について、様々な情報を耳にします。望ましい社会性を育むため、多くの人を使う場所での過ごし方について、学校では次のような指導します。ご家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

- ・施設の人の話をよく聞く。
 - ・自分や他の人がけがをする可能性があるような、危険な遊びをしない。
 - ・施設の人や、他の利用者の迷惑になることはしない。（声の大きさ、言葉遣いなど）
 - ・施設のものは大切に扱う。汚さない。使ったら元の場所にきれいに戻す。
 - ・飲食は決められた場所で行う。
 - ・大切なものは持っていくかない。自分のものをしっかり管理する。他の人のものに手を出さない。
 - ・お金を家から持ち出す場合、何に使うのか、いくら持ち出すのかを家の人と事前に相談する。
 - ・プレイラボやあすなろ等で困ったことがあった場合、その施設の職員にすぐに相談する。
- ※後日になると、子どもの記憶があいまいになることがあります。その場で対応することで、困り事の解消が容易になることが多く、お子さんの気持ちも和らぎます。もちろん、必要に応じて学校でも対応しますが、お子さんが嫌な気持ちを抱え続けないように、その場で施設の職員に相談したり、家庭同士でお話をしたりしていただきますよう、お願いします。